

あけましておめでとうございます



発行所
佐賀市与賀町 1-24
佐賀県PTA連合会
☎0952-262276
印刷 佐賀印刷社

あけましておめでとうございます。
PTA会員の皆様には、お子様とともにすばらしい新春を迎えることと、心よりお慶び申し上げます。
さて、本年三月十七日から「肥前さが幕末明治維新博覧会」がいよいよ始まります。明治維新で先駆的な役割を果たした佐賀藩の功績をはじめ、幕末維新期の佐賀のことを知ることができ、保護者の皆様も、是非、



「新年のごあいさつ」
佐賀県教育委員会
教育長 白水 敏光

お子様と一緒に会場へ足を運んでいただけたらと思っております。その後の日本や佐賀のことを考えて行動した当時の人々の思いや先人たちの功績に触れることで、郷土に対する愛着を深めるとともに、当時の人々の機会となりますことを期待しているところです。
昨年十一月に「できることから始めませんか？」子ども真ん中に「家庭・学校・地域のネットワークづくり」という主題で開催された平成二十九年度佐賀県PTA研究大会の実践報告では、地域の方々との連携が子どもたちの健やかな育成にとって大きな力となっていること、地域全体で子どもを育てようと



「新年のごあいさつ」
佐賀県PTA連合会
会長 江田 明弘

あけましておめでとうございます。
日頃より、会員の皆様には本会の活動に対し、多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
佐賀県PTA連合会も昭和二十二年の設立以来、本年で七〇年目を迎えることになりました。これもひとえに、県内PTAのOBの皆様や現役会員の皆様、そして本会の活動をご支援頂いている各種団体の方々のご協力のおかげと心から感謝申し上げます。

PTAの活動において保護者の負担を減らすと活動を縮小していくところもありますが、皆が忙しい時代だからこそ、本来の役割を再認識し支えあう必要があります。
PTAは本来困った時に助け合い、時には学校や子どもの問題を解決して学校を支えるものです。そのためには、保護者、学校、地域の互いが顔の見える関係作りが必要だと思っております。PTA活動を通じて保護者や学校の関係者が、同じ立場や違う立場の人たちと、子どもたちのよりよい教育環境づくりをめざして、より多くの「つながり」を模索し、共に「学ぶ」ところです。

いつの時代も子供たちにとってそれぞれの未来は未知数です。それは期待と不安に彩られています。情報やモノが国境を越えて、世界中で進展しているグローバル化やかつてない少子高齢化社会の中で、子どもたちは将来を見据え成長していかなくてはなりません。こうした時代を背景に、私たちPTAは子どもたちの健やかな成長と自立を願うと同時にその指針を示さなければなりません。だからこそPTAが存在する意味は大きいのです。
七〇年間の長きに渡り存在してきたPTA。これからもこれまで以上に必要とされる組織を目指し、「変えるべき」と「守るべき」をしっかりと見定め、子どもたちの輝く未来のために、共に集い・学び・切り開けるよう、そして佐賀県PTAが一丸となり絆が深まりますよう、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とします。

されていること、また、子どもたちに寄り添いながら支援をしていただいていることなど、まさに、家庭・地域と学校が協力して子どもたちを育成されている取組を発表していただき、子どもを中心据え、学校、家庭、地域が、子どもたちのために連携・協働していただいていることに感謝申し上げます。
昨年三月三十一日に公示された新学習指導要領にも、学校と家庭、地域社会の連携・協働を進めることの重要性が改めて明記されています。これからの子どもたちの健やかな育成のために、学校、家庭、地域が力を合わせて教育に取り組んでいただけるようお願いいたします。
最後になりましたが、PTA活動が一層充実し、会員とお子様にとりまして、輝かしい年となりますようお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



第三十八回市郡連親睦ミニソフトボール大会が、今年度も芦刈文化体育館で盛大に行われました。ここ数年、伊万里市Pの皆さんによる準備運動が好評で、今回はステージ上でセクシーなブルゾン〇〇〇〇がカッコよく踊っていて、皆さん恥ずかしそうに真似をしてあったのが印象的でした。
試合の方も親睦とはいえず、年々レベルが上がってきているのか、チームワークがいいのか、ラリーが長く続くゲームが多かったように思います。フルセットの試合も多かったのではないのでしょうか！応援の方も大変盛り上がりつつある様子でした。
OBチームも二チームと、多くの方が参加して大会を盛り上げて下さいました。
親睦目的の行事ですので、試合の勝敗よりも、市郡連での練習や、その後の情報交換会等で役員同士や先生方との親睦が図れれば、成果があったと言えると思います。最後になりましたが、審判団の方々、小城市Pの皆様にも感謝申し上げます。
今後ともPTA活動の参加にご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

第38回市郡連親睦
母親ミニソフト
ボール大会
平成29年10月14日(土)

ランドセル



私はランドセル姿の子供を見かけると心が和みます。小さな子供が自分より大きなランドセルを背負って通学する姿を見かける度「ほっこり」とした感情で眺めてしまいます。
ランドセル姿も勿論ですが、中学生がヘルメット被って自転車を一所懸命漕いで登下校する光景を見かけても「頑張れ」って心の中で応援しながら眺めてしまいます。皆さんも何故か他人の子供を見かけると気持ちが親心になり、自分や子供の幼少期を思い出してしまうのではないのでしょうか。

現在、私の子供は中学三年生になりましたが、小学入学前には二人で学校まで歩いて道を覚えさせたり、入学後は心配で途中まで一緒に歩いて登校したりと、まだ幼かった我が子の記憶が鮮明に蘇ります。今は、ヘルメットを被って毎日元気に登下校しています。

子供の成長が嬉しくてたまりません。
親には子供の成長が「生きる力」になっているのだと思います。

今のランドセルは昔と違いカラフルになっていますが、遠くからも目立つランドセルは、慌ただしい日常で生活している人の心を和ませている物になっていると思います。

これからも大人が親の目になって、登下校している子供を見守って行ければと思います。

西溪校育 陣内 友枝

有田小
祖慶さくら

私には、目標にしたい人がいます。それは、本を読んで知った、おそうじマイスターの新津春子さんです。

晴子さんは仕事をするときに、いつも心がけていることがあります。それは「心をこめること」です。心とは、自分の優しい気持ちです。私は、何か物事をするときに、心をこめることを意識したことはありませんでした。しかし、この本を読んで、何かをするときには春子さんのように、心をこめて仕事ができるようになりたいです。

私は、新津春子さんのように意志を強く持ち優しい気持ちを持てて仕事ができる人になりたいです。

塩田中
江島菜々子

私の将来の夢は、小学校の先生になることです。昨年、職場体験学習で、母校の小学校へ行きました。そこでは、働くことの楽しさと同時に大変さも感じました。しかし、子ども達のために頑張っておられる先生方の姿は、私の夢への思いを、より強くさせました。夢の実現のために、今、私は毎日勉強をがんばっています。三年間の中学校生活を通して、将来、自分の財産となるようなかけがえのないものを学びました。それは、きつと夢へとつながるものだと信じて、どんな壁も乗り越えていきたいです。そして、その先に待っている夢に向かって、これからも歩み続けていきます。

能古見小
熊本 眞子

「小学校の先生になりたい。」わたしは、ずっとこの夢をもっています。この夢をかなえられるように、勉強を頑張っています。

わたしが目指す先生は、いつも優しく、時々厳しく、という先生です。また、子どもが困っているとき、そっとよりそえる先生になりたいです。先生になったら、子どもたちとたくさん遊びたいです。

小学校の先生になるというのは、とても大変なことだと思います。でも、途中で夢をあきらめないで、日々、頑張りたいです。でも、小学校の先生になるには、勉強だけではだめだと思うので、日々の生活からも頑張っていきたいと思います。

上峰中
樋口 大輝

僕の将来の夢は、消防士になることです。消防士になろうと思ったのは、小学生の時に見た、あるドラマがきっかけでした。そのドラマで自分の命を投げ出して人の命を救うところに感動をし、自分も消防士になりたいと思いました。

消防士になるために必要な体力作りをサッカーを通して小学生の頃から頑張っています。それから人間関係も中学校生活やサッカーで色々学びました。これからも高校でサッカーを続け、体力をつけ、良い人間関係をつくる力をつけていきたいと思っています。あのドラマで見た消防士を超える人物になり、人の役に立ちます。

中央校
真名子春之介

ぼくは来年、目標を持って頑張ります。

一つ目の目標は、学習についてです。中学校では小学校に比べて授業時間が長くなります。今ぼくは、小学校の授業時間集中が半分ぐらいしかできていません。関係のない話など今から一つでも減らせるように頑張りたいです。

二つ目の目標は、成長です。ぼくは少しでも腹が立つと手を出してしまいます。それはまだまだ自分の心が弱い証拠です。心が強くなるように意識して生活したいです。

三つ目の目標は、全ての物を大切にします。友達や家族、自分など沢山の物を大切にしたいです。この目標を達成します。

学力向上コーナー

佐賀県教育庁教育振興課

「自ら学ぶ」
子どもを育てましょう！

県教育委員会は、すべての子どもたちに、学校や家庭、地域での学習を通して、

自分のよさに気づき、

自らの目標に向かって

たくましく歩んでほしい

と願っています。

そのために、学校での学習はもちろんのこと、家庭での教育、学習が不可欠です。家庭（保護者）と学校（教師）が連携して、

「自ら学ぶ」

子どもを育てましょう！

そこで、

家庭のルールを決め
ましょう！

4月の全国学力・学習状況調査で、児童生徒の意識調査が実施されました。その中で、「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていきますか」「グラフ」という質問において、小学校6年生で約7割、中学校3年生で約5割が決めていないと答えています。自立して生活や学習を行うことが望ましいですが、発達段階や子どもの様子を見ながら、

家庭生活のリズムを整え、

家庭学習の習慣化

を目指すために、子どもと、家庭での生活面や学習面のルールを決めて、一緒になって取り組んでいくことが大切です。

つきに、

家庭学習の内容・場所・
時間を決めましょう！

授業で学んだことと家庭学習のつながりをもたせ、自ら学ぶ習慣を

身に付けるために、保護者と子どもで話し合って、家庭学習の

内容・場所・時間を決める

ようにするとよいでしょう。内容は、今日何を勉強するのかを決めましょう。場所は小学校低学年から中学年のうちは、保護者から見える所がよいでしょう。また、終わるまでの目標時間を決めて、毎日取り組むようにしましょう。

さらに、

子どもとの関わりや会話の中に、子どもが自分で考える場面を作りましょう！



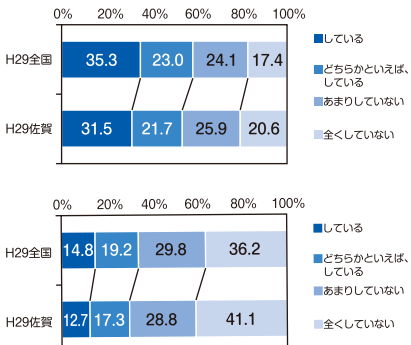
小学校高学年や中学生になっても、子どもは会話や保護者からの声かけを楽しみにしています。時には、ニュースや読んだ本について互いに自分の考えを話すことを行ってみては、いかがでしょうか。

子どもの考えに対して、保護者の考えや違う見方を伝え、共有すること

で、

【グラフ】

テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていきますか



小学校6年生

中学校3年生

All School Uniform Planner

営業品目

学生服・女子通学服・スクールシャツ&ブラウス
男・女ブレザー&スーツ 体育衣料全般
幼稚園・小学生通学服



トータル ユニフォーム卸商社
株式会社 ヒゼンメイト

佐賀市卸本町7番12号 ☎(0952)31-5111(代)

部活動応援

カレーとスープはおかわり自由!!



※写真は高校生用料理の10名様分です。※写真と内容は若干異なります。

- 特典
- ①プロジェクター&スクリーン&DVDデッキ貸出サービス!
※事前にご予約をお願いします。(台数に限りがございます。)
 - ②会場使用料2時間30分サービス!
 - ③部旗・応援旗を会場に取付します! ※事前にご相談ください。

HOTEL
グランデはがくれご予約・お問い合わせは
TEL 0952-25-2212〒840-0815 佐賀市天神2丁目1番36号
http://www.grande-hagakure.com/
※その他、ご予約に応じてご提案いたします。

親睦会プラン

グランデはがくれは、
中学校・高校などの
部活動を応援しております!

中学生・高校生 ※10名様より承ります。
卓盛料理+ソフトドリンク飲み放題
(ウーロン茶、ジュース、コーラ)

高校生
お一人様 4,000円~(奉・税込)
中学生
お一人様 3,500円~(奉・税込)

大人 ※10名様より承ります。中高生が主体の親睦会に限ります。
卓盛料理+フリードリンク(ビール、焼酎、
日本酒、ソフトドリンク、ノンアルコールビール)

大人男性
お一人様 5,000円~(奉・税込)
大人女性
お一人様 4,500円~(奉・税込)

第六十二回

日本PTA九州ブロック研究大会 おおいた大会

ともにつながり育て合おう！

光り輝く地域の宝のために

PTA・協育・こどもの未来

分科会 平成二十九年十月二十二日 全体会 二十二日



全体会会場

記念講演

【演題】

どうぶつと
共に生きる



【講師】

アフリカンサファリ取締役

獣医師 神田 岳委氏

母親ライオンに見捨てられ虫の息で、かろうじて生きていた一頭のライオンリボンちゃんの誕生から死ぬまでを見届けたエピソードは、命の大切さや命を育むことの意味、自分がされてうれしいことを動物にもすることが大切だということなど多くの示唆に富んだお話を聞くことができました。

表彰受賞
おめでとうございます

◆団体表彰（六団体）

佐賀市立嘉瀬小学校PTA
多久市立東原南舎西溪校育友会
唐津市立浜玉中学校PTA
伊万里市立山代西小学校育友会
有田町立有田中部小学校PTA
白石町立有明中学校PTA

◆個人表彰（八名）

鷺崎 義師
亀山 法城
唐島 由晃
富岡 達也
有森 高夫
木下 明子
岩谷 綾子
安西 勉

◆感謝状（二名）

倉光 健二（県P前会長）
池田 伸也（県P前副会長）



第八分科会

SF青空プロジェクトを通じてのPTA活動絆づくり

神崎市立神崎小学校PTA会長 池田 清人

今回の私たち神崎小学校PTAが五年間という長期にわたり行ってきたこの活動は、我々単Pで経験した事がなく、東日本大震災という余りにも規模が大きな災害に対しての活動であった。当時の校長とPTA会長の思いが合致し始まった活動は、被災された方々と現状を双方の子どもたちが先生方とPTA、そして地域の皆様と共有し、そこで得た情報を基に、何をすべきかと考え、実行に移したものだ。私たちのPTAが常日頃サポートする学校行事等は、過去の活動を基に継承してより良いものにしていく事だった。しかし今回は、大規模災害で被災された子どもたちが、普段ではあり得ない「青空の下で思い切り遊ぶこと」に制限されたことにより支援できるのか等、考慮すべき点が多かった。しかしながら当り前の事が当たり前にできない子どもたちを想う会員の温かい心が根底にあり、この活動が動き出し、併せて学校を取り巻く地域の皆様と心を一つに環境を整えていくことに尽きると考える。このプロジェクトの主旨である「被災者との交流を通して、同じ時代に生きる国民として、互いを理解し、共に助け合って生きていくことの大切さを学ぶこと」で得た多くの経験は、私たちの組織力向上への一助となったと思う。また、純粋に人としてどうあるべきか改めて考える良い機会であった。



第四分科会

夢に向かって目標をもち、チャレンジする生徒の育成
必要とされるPTAを目指して

鳥栖市立田代中学校PTA会長 西依 義規

ここ数年、果たして、「PTAは必要とされているのか」という課題がありました。美化作業、教育講演会、あいさつ運動など『学校』から必要とされる活動だけではなく、もっと、『会員（保護者・教職員）』や『生徒』から必要とされる活動をと、昨年度より、自転車点検（五五〇台）や部活動支援（二十七万円）に取り組み、本年度は、「七夕まつり（流しそうめん・かき氷・七夕飾り・短冊）」を開催し、運営は生徒会が中心となつて行ないました。

以上の内容で発表を行ないましたが、会場の皆さんから多くの質問が飛び交い、分科会自体は大変盛り上がりしました。今後必要とされるPTAを目指し、子どもや保護者が楽しめるPTA行事・体験活動を開催し、田代小・若葉小・弥生が丘小の児童から、「田代中に行きたい！」とってもらえるような学校を、生徒たちと一緒に作っていければと思います。



第六十二回 平成二十九年年度

佐賀県PTA研究大会 神埼地区大会

平成二十九年十一月十八日（土）神崎市中央公民館



開会式



くねんワン

くねんニャン

【主題】

「できることから始めませんか？」
子どもを真ん中に家庭・学校・地域の
ネットワークづくり

【実践報告】

◆「デイキャンプの取組について」

発表者 神崎市立千代田西部小学校PTA
会長 古川 佳史

◆「保護者が子どもと考え、成長できるPTA活動の在り方」～ネット社会との向き合い方～

発表者 神崎市立神崎中学校PTA
副会長 石橋恵美子

◆「子どもたちを守る」

～下校時防犯パトロールの取組～
発表者 吉野ヶ里町立三田川中学校PTA
前会長 田中 浩之

吉野ヶ里町立三田川中学校PTA
生活指導部部長 松浦 功



脊振小学校5・6年生 オカリナ演奏



【実践報告】

千代田西部小学校では、平成十一年度から毎年「デイキャンプ」を企画し、カヌー遊びやカレー作り、親子ふれあい活動を行っています。集団活動を通して、子どもたちの自立心や連帯感を養うことの大切さについて発表していただきました。神崎中学校「ネット社会との向き合い方」では、スマホなどの情報通信機器利用における子どもと保護者の意識のずれを調査することで、課題を浮き彫りにし、啓発活動に努めることの重要性を発表していただきました。三田川小・中学校「子どもたちを守る」～下校時防犯パトロール～では、吉野ヶ里町における昨今の大型スーパー等の相次ぐ出店による子どもたちの下校時立ち寄りや深夜徘徊の防止及び通学路の安全確保のための巡回活動について発表していただきました。いずれの報告も、今回の主題である家庭・学校・地域のネットワークの重要性の再確認につながる有意義なものでした。

【教育講演会】

・演題 「子どもを台所に立たせよう」

・講師 竹下 和男氏

【教育講演会】

「子どもが作る、弁当の日」



竹下 和男氏

「子どもが作る、弁当の日」
提唱者の竹下和男氏を講師にお招きし、「子どもが台所に立つ」ことの意義について、心身発達のメカニズムと関連づけながらわかりやすく説明していただきました。親が子どもと一緒に楽しく台所で料理を作れば、「自分で弁当を作ろうとする『環境』」に適応し、反対に親が子どもを台所から遠ざければ、子どもは「自分で弁当を作らなくてよい『環境』」に適応するとのことでした。核家族や共働き世帯などの増加により、食生活が軽視される傾向にある現代に警鐘を鳴らす素晴らしい講演でした。
神埼地区大会に参加していただいた佐賀県内各地のPTA関係者の皆様が各地域で知恵を出し合い、子どもたちの健全な成長のため、家庭・学校・地域のネットワーク（絆）を強固なものにしていきましょう。
一人一人の力は小さくても、みんなで力を結集すれば、大きな力になります。まずは、あなたの身近な人に声をかけてみてはいかがでしょうか。「わたしたちと、できることから始めてみませんか？」



子どもと過ごす時間は思っているより少ない。子育てを気負わず、子どもといっしょの時間を大切にしながら過ごしていきたい。

子どもとの共通の趣味はゲームである。将棋、オセロ、テレビゲームいろいろである。最近、子どもに負けることが増えてきた。子どもの成長を垣間見ながらも、やはり悔しい。

子どもと過ごす時間は思っているより少ない。子育てを気負わず、子どもといっしょの時間を大切にしながら過ごしていきたい。

子どもと過ごす時間は思っているより少ない。子育てを気負わず、子どもといっしょの時間を大切にしながら過ごしていきたい。

我が家には二人の子どもがいる。子育てをほぼ妻に任せきりにしている私は自分の中で決めていることがある。

それは、「朝ごはんを子どもたちといっしょに食べる」と「趣味をいっしょに楽しむこと」である。共働きで夜遅くまで家事をしている妻の代わりになるべく朝ごはんをつくり、子どもに味の評価を聞きながら会話を交わす。妻には適わないが、そこそこの評価をもらう。これが結構嬉しい。

子どもとの共通の趣味はゲームである。将棋、オセロ、テレビゲームいろいろである。最近、子どもに負けることが増えてきた。子どもの成長を垣間見ながらも、やはり悔しい。

我が家には二人の子どもがいる。子育てをほぼ妻に任せきりにしている私は自分の中で決めていることがある。

それは、「朝ごはんを子どもたちといっしょに食べる」と「趣味をいっしょに楽しむこと」である。共働きで夜遅くまで家事をしている妻の代わりになるべく朝ごはんをつくり、子どもに味の評価を聞きながら会話を交わす。妻には適わないが、そこそこの評価をもらう。これが結構嬉しい。

子どもとの共通の趣味はゲームである。将棋、オセロ、テレビゲームいろいろである。最近、子どもに負けることが増えてきた。子どもの成長を垣間見ながらも、やはり悔しい。

我が家には二人の子どもがいる。子育てをほぼ妻に任せきりにしている私は自分の中で決めていることがある。

それは、「朝ごはんを子どもたちといっしょに食べる」と「趣味をいっしょに楽しむこと」である。共働きで夜遅くまで家事をしている妻の代わりになるべく朝ごはんをつくり、子どもに味の評価を聞きながら会話を交わす。妻には適わないが、そこそこの評価をもらう。これが結構嬉しい。

子どもとの共通の趣味はゲームである。将棋、オセロ、テレビゲームいろいろである。最近、子どもに負けることが増えてきた。子どもの成長を垣間見ながらも、やはり悔しい。

明倫小学校のPTA活動

本校は「みつめ・動き・高め合う明倫っ子の育成」を教育目標としています。これは、自学・自力解決で「知識」を会得し、「知識」により生きて働く「知恵」を身に付け、仲間とともに「人間性」を高めることができる子供を育てようとするものです。またコミュニケーションスキルとして地域や保護者が学校の運営に参画し、子供たちが抱える問題を地域ぐるみで解決していくための「地域」とともにある学校づくりにも力を入れています。

明倫十八年に育英小学校として開校した北川副小学校は、佐賀市の南東にあり緑の残る住宅地と商業地区の間に位置し、校区には県立佐賀東高等学校があります。かつての北小が親となり、学び舎の近くに家を構え、母校へ通うわが子を見送るというのもなくはありません。校庭を会場とする地域の祭り「ふれあい夏まつり」冬まつり」に加えて、三月の南佐賀サイクリングロードでの「桜まつり」で地域の方々と交流を深め、コミュニケーションとして運営を円滑にするサポートをしています。比較的自然災害の少ない佐賀とはいえ、いつか来るかもしれない「もしも」に備えて、中学学年を対象にした「防災キャンプ」を夏休みに開催し、疑似体験の中で知恵を出し助け合う訓練を三年前に始めました。

北川副小学校のPTA活動
北川副小 P
前会長 片岡 栄子

特色ある単Pの活動

～佐賀市・鹿島市編～

Vol.50

数ある活動の中でも、北川副小学校PTAが近年特に力を入れている活動が、ユニバーサルデザイン(UD)教育です。社会的弱者だけでなく皆に優しい学習生活環境を整えることで思いやりの心を育み、学力が向上する相乗効果を生み出しています。地域の方々への「ふれあい感謝の集い」では今年度は四年生がUD学習発表を行い、単Pとしては指定校認定の年に「UD教育実行委員会」を立ち上げ、保護者と地域の認識を図るために発達支援専門家の講演会や学校からの成果発表とワークショップを開催しています。それによって、保護者が子どもの個性を受とめて不必要な衝突を回避し、楽しく「子育て親育ち」ができることを目指します。子育ては

て、学級役員を中心に学校探検や親子スイーツ作りなど工夫を凝らしたレクリエーションを行っています。また明倫小では、毎年十一月に児童主体で日ごろの学習成果や自分の思い・願いを表現し、児童や教師、保護者や地域の方々とのふれあう機会を作ることを目的とした「明倫まつり」が開催されており、PTAでもバザーやパンなどの販売・カフェの出店を行い、収益を学校用品の購入などに活用しています。

保護者だけでなく地域との連携が不可欠だと考え、今年度は町区懇談会に於いても、UD教育のプレゼンで地域での周知理解と支援をお願いしました。



法研修会、運動会運営補助、地子連球技大会の開催など、③母親部ではカーテン洗濯、給食エプロンの補修、母親部広報紙「あやとり」の作成、給食センター視察研修など、④広報部では年3回明倫小PTAの広報誌「ふじのもり」で上記の活動を紹介し、家庭や地域へのPTA活動の普及啓発に取り組みんでいます。



今後明倫小学校PTAは「すべては子供たちの為に」を合言葉に活動を続けることが、子供はもちろん保護者を育て、学校や地域が発展すると信じて日々活動を行っています。

佐賀県PTA連合会推薦 小中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様を取り巻く様々なリスクに対応します。

●学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガを補償します。

●他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に補償します。所定の条件を満たした場合、借り物の損害も補償します。ご家族の方も対象です。



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先：0120-228-553 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン) 受付時間:平日午前9時～午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)

○制度引受保険会社: AIU損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 2017年4月現在の内容です。

承認番号 A-000744 2018-03